

子ども俳句だより



平成28年度 5月 井口台小学校校長室

平成28度の「子ども俳句だより」を発行します。今年もさっそく皆さんの素敵な俳句がたくさん投稿され、楽しく読ませてもらいました。投稿された俳句は1階の掲示板に貼っていますので見てくださいね。「子ども俳句」は毎月20日頃に発行します。今年も校長室前の青いポストに、どんどん投稿してください。待っています。



【今月の大賞】

「新学期 スタートライン 強くふめ」

5年 谷口 蒼空

新しい学年が始まり、今年もがんばるぞという気持ちが「強くふめ」という言葉から伝わってきます。いいスタートが切れましたね。

【入選】

「一年の初めの日から楽しいな」 6年 貞安洋武

「春になりたけのこひょっこり顔出した」 5年 鞆川真子

「さくら散りピンクのじゅうたん完成だ」 5年 川口愛央

「桜咲きポカポカ笑顔いい春だ」 5年 伊藤穂乃夏

「こんにちわ土の中からだんごむし」 5年 岡村太晴

「さくら見て食べたくなるよさくらもち」 5年 山崎未伶唯

「進級だワクワクしながら教室へ」 4年 土永あい夏

「野原にはたくましく立つさくらの木」 4年 宮原みずき

「新しい教科書ノートピカピカだ」 4年 清家かな

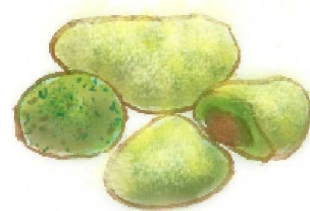
「俳句はね思い出の日記書きこむね」 3年 山崎ひなよ

さくらの花をみても、人それぞれいろいろな見方や感じ方がありますね。みんなちがって、みんないい。新しい学年になったわくわく、ドキドキした気持ちも伝わってきます。また、たけのこやだんご虫の表現が、ユーモアがあって楽しいですね。素敵な俳句がたくさんありました。

【今月のおすすめ俳句】

おらが世(よ)やそこらの草も餅(もち)

になる 小林 一茶(こばやし いっさ)



ヨモギの若い葉っぱをつんでお餅に入れ草餅をつくり、昔の人は季節とともに自然を味わっていたのだなと感心します。